

平成28年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 一般入試<input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試<input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（心理学）<input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>心理学、心理学研究法、統計学の考え方や、これらの分野の基本的な用語・概念についての知識を問うために「語句問題」を課す。また、それらを応用して人の行動や様々な現象について考える力を問うために「文章問題」を課す。</p>

平成28年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 心理学 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 7枚を配付する。

解答用紙7枚は以下の通りに使用する。問1から問3については、それぞれ1枚ずつ解答用紙を用いること。問5のうち、①から⑤については1枚の解答用紙を用い、⑥から⑩については別の1枚の解答用紙を用いることとする。残り2枚は下書き用とする。

次の問すべてについて解答しなさい。

問1 私たちは一人で複数の課題を同時に行おうとすると、うまくできずに間違いをおかすことがある。このような現象がなぜ生じるのか、認知心理学的観点に基づいて論じなさい。

問2 神経細胞どうしはどうやって情報の受け渡しをするか、述べなさい。

問3 3つの記憶法の効果に違いがあるかを調べるため、15人の参加者を無作為に5人ずつ各方法に対して割り当て、再認成績を調べた。その得点が下記ようになった。

記憶法A) 1 2 2 4 6

記憶法B) 1 3 5 5 6

記憶法C) 3 4 4 6 8

これらの数値を用い、次の問に答えなさい。

- (1) 各記憶法の「平均値」および「不偏分散」を求めなさい。
- (2) 適切なパラメトリック検定の方法を答えなさい。
- (3) (2)で答えた方法について、実際に計算して検定しなさい。ただし有意水準は5%とする。必要があれば別添の「F分布表」（試験問題の3枚目）を利用しなさい。

問4 次の用語・人物を簡単に説明しなさい。

- ① オペラント条件づけ (operant conditioning)
- ② クローズド質問 (closed question)
- ③ 記憶の精緻化 (memory elaboration)
- ④ 単純接触効果 (mere exposure effect)
- ⑤ 音程のカテゴリー知覚 (categorical perception of intervals)
- ⑥ 幻肢 (phantom limb)
- ⑦ 生成文法 (generative grammar)
- ⑧ フランカー効果 (flanker effect)
- ⑨ 中央値 (median)
- ⑩ ヘルマン・フォン・ヘルムホルツ (Hermann von Helmholtz)

*「 F 分布表」は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 山田剛史・村井潤一郎（2004）『よくわかる心理統計』（ミネルヴァ書房）p. 237の F 分布表